

ほけんだよい

令和2(2020)年12月1日(火)

札幌市立太平中学校 保健室発行

No.15

なくそう！コロナ差別



どんなに予防に気を付けていても、誰もが感染する可能性があります。医療従事者の方たちも、大変な思いをしています。このような状況の中、感染者やその家族、特定の職業や地域の人に対して、ひぼう中傷やいじめ、差別的な対応といった「コロナ差別」と言われる人権侵害が社会問題となっています。こうした行動は、人々の不安をあいり、感染が疑われる症状が出て受診をためらい、結果的に感染が拡大するという負の連鎖につながります。一人一人がお互いの立場に立ち、思いやりの心をもって支え合いながら、この状況を乗り越えていきましょう。

偏見や差別に当たること

感染した人及びその家族に
対するいじめ



SNS での心ない
書き込み



感染した人の住まいや
勤め先の詮索



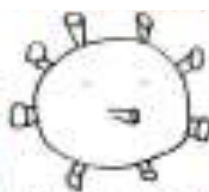
ウィルスは目に見えないため、不安な気持ちになることは当然のことです。気持ちを誰かに話したり相談したりすることで辛さが和らぐことがあります。辛いときは遠慮なくおうちの人や先生方に相談してください。



負のスパイラルで“感染症”が拡がる

この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで、

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらい、結果として病気の拡散を招く



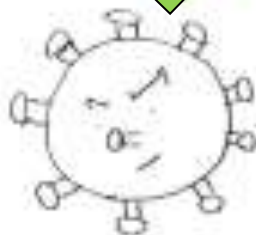
第1の“感染症”
「病気」

①未知なウィルスでわからないことが多いため不安が生まれる



第2の“感染症”
「不安」

②人間の生き延びようとする本人によりウィルス感染にかかわる人を遠ざける



第3の“感染症”
「差別」

3つの“感染症”は
どうつながっているの？

私たちに今できることは、一人一人が感染防止に努め、自分と周りの人の健康を守ることです。
もう一度、**こまめな手洗い・正しくマスクをつける・こまめな換気をする・人混みに行かない・人と人との距離をとる**
等の基本的な感染予防対策についてよく考え、徹底しましょう。



コロナ? インフルエンザ? カゼ?
症状はどう違う?

よく似た症状が多く、自分では判断できないことがほとんどです。朝から「体調が悪いな」と思ったらおうちの人に相談し、無理せずに学校は休みましょう。

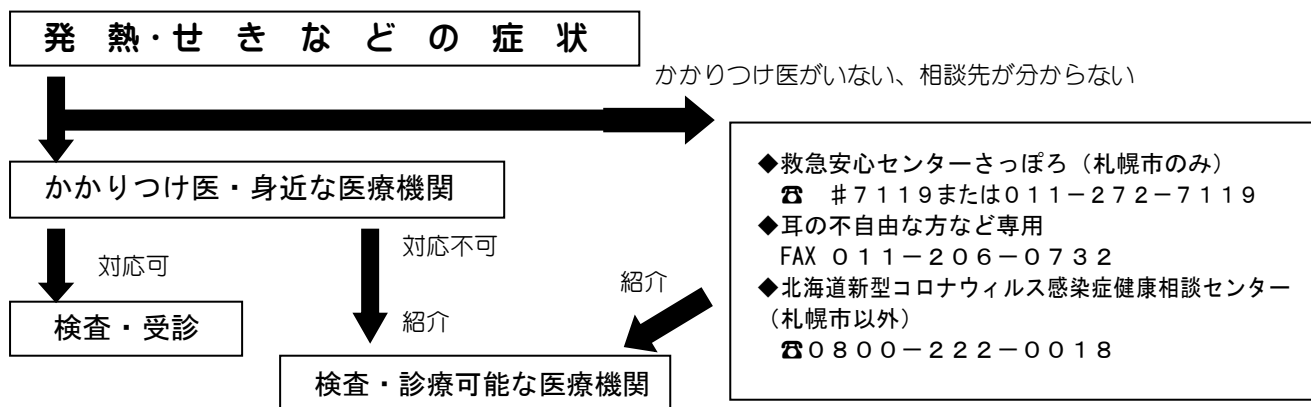
病名と症状	せき	熱	倦怠感	頭痛	下痢	のどの痛み
新型コロナウイルス	😷	平熱 ～高熱	😞	😞	😞	😞
インフルエンザ	😷	高熱	😷	😷	😞	😷
カゼ	😞	平熱 ～微熱	😞	😞	😊	😷

😷 … 高頻度 😞 … よくある 😶 … ときどき 😊 … まれに ※無症状の場合を除く

保護者の方へ

体調不良による欠席連絡をいただいた場合、具体的な症状（せき・のどの痛み・熱等）と、医師による診断の有無をお伺いしますのでご協力をお願いします。本人または同居のご家族に、発熱等のかぜ症状がある場合は症状がなくなるまで、または医師の診断により新型コロナウイルス感染症が否定されるまで出席停止扱いとなります。受診された場合は診断結果を学校にお知らせください。受診の際は下記のフローチャートを参考にしてください。

新型コロナウイルス感染症の相談・受診の流れ



** 保健室からのお知らせ **

今年度の健康診断も残すところ歯科健診のみとなりました。
日にちが近くなりましたら改めておたより「健康診断だより」にてお知らせいたします。

【今年度の健康診断】

歯科健診① 12/9（水）
歯科健診② 12/16（水）
予備日 12/22（火）

